



展示会応援
キャラクター
「Y-cat」

松本市出身の映画監督・山崎貴は、VFX(ビジュアル・エフェクツ／視覚効果)を駆使し、『ALWAYS 三丁目の夕日』シリーズや『SPACE BATTLESHIP ヤマト』『永遠の0』『DESTINY 鎌倉ものがたり』など、CG合成とは思えない緻密な映像をつくりあげることで知られています。またその作品の多くで脚本を手がけ、原作ファンも裏切らない演出力で、日本人の心に響くエンターテインメント性の高い映画をつくってきました。

本展では、山崎監督がつくりあげる映像の世界を、デビュー作から最新作まで、絵コンテやデザイン画、映像制作のために作られたミニチュア模型や出演者の衣裳、実物大のセットをはじめ、VFXの制作過程、完成映像などを通じてご紹介しています。

中心市街地で展開中の「まちなか出張展」と合わせてぜひご覧ください。

「まちなか出張展」では、山崎監督デザイン「Y-cat」の立体作品を展示▶

▼立体ゾートロップ



▼Y-catスタチュー



「映画監督 山崎貴の世界」展示会場内の様子



▲映画「ジュブナイル」より「テトラ」

映画「永遠の0」より絵コンテ▶



▼映画「もののけ島のナキ」より「ナキの小屋」ミニチュア



◀映画「ゴーストブック おぼけずかん」より「図鑑坊」デザイン画



▲映画「アルキメデスの大戦」より「平山案の戦艦」模型

映画「リターナー」より「擬態宇宙船」デザイン画▶



▲映画「ALWAYS 三丁目の夕日'64」より絵コンテ

OK 会場内は一部を除き、写真撮影OKです

©2000 Juvenile Project, ©2002 FUJI TELEVISION NETWORK/TOHO/AMUSE PICTURES/ROBOT/SHIROGUMI/IMAGICA All rights reserved.
©2011「friends ものけ島のナキ」製作委員会、©2012「ALWAYS 三丁目の夕日'64」製作委員会、©2013「永遠の0」製作委員会、©2017「DESTINY 鎌倉ものがたり」製作委員会、©2019「アルキメデスの大戦」製作委員会 ©三田紀房/講談社、©2022「GHOSTBOOK おぼけずかん」製作委員会 ©斉藤洋・宮本えつし/講談社



YAMAZAKI Takashi, Profile 1964年、松本市生まれ。株式会社白組所属。2000年「ジュブナイル」で監督デビュー。CGによる高度なビジュアルを駆使した映像表現・VFXの第一人者。『ALWAYS 三丁目の夕日』(2005年)では、心温まる人情や活気、空気感を持つ昭和の街並みをVFXで表現し話題になり、第29回日本アカデミー賞最優秀作品賞・監督賞など12部門を受賞。『永遠の0』(2013年)では、第38回日本アカデミー賞最優秀作品賞など8部門を、共同監督を務めた『STAND BY ME ドラえもん』(2014年)では、最優秀アニメーション作品賞を受賞。日本を代表する映画監督の一人。



▲ミュージアムショップでは、「Y-cat」のオリジナルグッズや山崎監督直筆のデザイン画ポストカード、「ゴジラ-1.0」の公式グッズなど取扱中

映画「まつもと日和」(73分)上映のお知らせ

山崎貴監督が中3の時に撮った『GLORY』も部分的に登場します。
■日時/9月19日(火)、10月25日(水) ■会場/まつもと市市民芸術館小ホール
■お問合せ/090-3535-6519(まつもとフィルム commons)
■https://matsumoto8mm.com



零戦コックピット飛行シーン撮影体験

映画『永遠の0』の撮影に使われた零戦コックピットに搭乗できる! ？ 展示会のために制作された新作の背景をバックにあなたも搭乗してみませんか? 写真や動画の撮影も可能です。 **ご予約はこちらから▶**



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 TEL.0263-39-7400
https://matsumoto-artmuse.jp

[交通] ◎松本バスターミナルからアルピコ交通バス、横田信大循環線5分[松本市美術館]下車 ◎JR松本駅からタウンズニーカー(市内周遊バス)東コース7分[伊織霊水(美術館北)]下車徒歩5分 ◎JR松本駅、松本バスターミナルから徒歩約12分 ◎長野自動車道松本ICから車で約15分
※駐車場には限りがございますので、自家用車以外のご来館にご協力をお願いします。

展示会公式URL

